

1 年生 ビジュアルデザイン科

グラフィックデザイン基礎(VD科)

担当教員 奥定泰之・山本哲次

受講アトリエ【602】取得単位：2単位

2023/10/20(金)- 2023/11/07(火)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

第1・2・3課題：グラフィックデザインやファインアート、イラストなどのジャンルを超えて、ものを作ることの楽しさを体感する。また、タイポグラフィや色面構成などのデザインの基礎を理解した上で、いくつかの小型グラフィック作品を試作する。

第4課題：文字のデッサンを通して文字の形を知る

授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	指導教員
1	10月20日	金		日本美術史B 英会話	○	ガイダンス、課題説明	奥定・山本
2	10月21日	土		自主制作／フランス語	○	全体課題説明と制作	奥定
3	10月22日	日					
4	10月23日	月		視覚文明史		各自制作	
5	10月24日	火		各自制作	○	制作のチェックと指導	奥定
6	10月25日	水		感性と表現5	○	制作チェック	山本
7	10月26日	木		Mac講座B		日本語2	
8	10月27日	金		日本美術史B 英会話	○	制作のチェックと指導	奥定・山本
9	10月28日	土		自主制作／フランス語		各自制作	
10	10月29日	日					
11	10月30日	月		視覚文明史	○	制作のチェックと指導	奥定
12	10月31日	火		各自制作	○	制作のチェックと指導	奥定
13	11月1日	水		感性と表現5	○	制作チェック	山本
14	11月2日	木		Mac講座B		日本語2	
15	11月3日	金		文化の日			
16	11月4日	土		自主制作／フランス語	○	オプション課題講評・制作チェック	山本
17	11月5日	日					
18	11月6日	月		視覚文明史	○	各自制作	奥定
19	11月7日	火		各自制作	○	全体講評	奥定・山本

学習目標

人に見せる、人を驚かせる、人を誘惑する、などの実社会におけるグラフィックデザインの基本的な役割を考えつつ、それを踏まえた小型グラフィック作品を考える。紙媒体に使用される文字について考える。

予習・準備物

好きな色や質感の紙を画材屋や紙専門店で購入し、一人5枚くらい用意すること。

注意事項

評価方法

提出課題による採点

1 年生 ファインアート科

フレスコ画(FA科)

担当教員 杉崎匡史

受講アトリエ 【601】 修得単位：2単位

2023/10/20(金)- 2023/11/07(火)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

古典技法としてのフレスコ画技法を模写を通して試みる。物質が変化していく、その体験を目の当たりにしながら、実直に絵と向き合う時間に身をゆだね、その中で自身の展開に繋がられるのか考えてみる。

授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月20日	金		日本美術史B 英会話	○	ガイダンス・モルタル作り・フレスコ剥がし・原画選択	
2	10月21日	土		自主制作／フランス語	○	モルタル再練り・地塗り・壁荒らし・原画選択・拡大コピー・	カルトーン制作穴あけ説明
3	10月22日	日					
4	10月23日	月		視覚文明史		拡大コピー続き・カルトーン制作穴あけ完成	明日から描画道具・タンポ用意
5	10月24日	火	○	モルタル再練り・シノビア・壁荒らし	○	イントナコ①・顔料練り	養生・ジョルナータ説明
6	10月25日	水		感性と表現4	○	壁押さえ・描画①・ジョルナータ削り	描画説明
7	10月26日	木		Mac講座B		日本語2	
8	10月27日	金		日本美術史B 英会話		モルタル再練り・イントナコ②	養生・塗りつぎ説明
9	10月28日	土		自主制作／フランス語	○	壁押さえ・描画②・ジョルナータ削り	
10	10月29日	日					
11	10月30日	月		視覚文明史	○	モルタル再練り・イントナコ③	養生
12	10月31日	火	○	モルタル再練り・壁押さえ・描画③・イントナコ④		描画④・ジョルナータ削り・イントナコ⑤	養生
13	11月1日	水		感性と表現4		壁押さえ・描画⑤・ジョルナータ削り	
14	11月2日	木		Mac講座B		日本語2	
15	11月3日	金		文化の日			
16	11月4日	土		自主制作／フランス語		モルタル再練り・イントナコ⑥	養生
17	11月5日	日					
18	11月6日	月		視覚文明史		描画⑥・完成	
19	11月7日	火		片付け	○	講評会	

学習目標

油彩画以前の一つの古典技法であるフレスコ画技法は、消石灰と砂を混ぜたもので漆喰壁を作り、その壁が乾き切らぬうちに顔料を水のみで溶いて描ききるので、空気中の二酸化炭素と反応した石灰成分が顔料を閉じこめ、半永久的に壁画は色褪せることがない。壁や石灰といった素材の強さにおいては代え難いものがあり、光沢の無い自然な質感や、制約の中で必要とされる高い集中力、五感だけでなく身体を一杯使って体感することなど、その中に潜む一つの可能性を探求する。

予習・準備物

プチパレット、ペーパーパレット、やわらかい丸筆平筆・彩色筆・刷毛(小)・面相筆など、(豚毛不可)、筆洗用具（大）、汚れても良い服装、箱ティッシュ、ペインティングナイフ、サランラップ、マスキングテープ、ハンドクリーム等

注意事項

制作工程を踏まないとフレスコになりません

評価方法

提出課題による採点、制作への工夫、共同作業への積極的な参加

シルクスクリーン基礎

担当教員 東樋口徹

受講アトリエ 【601、602】 修得単位：1単位

2023/09/30(土)- 2023/10/18(水)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

基本的な水性インクで紙に刷る4版以上を使った作品（A4/21cm×29.7cm）を一点（紙8枚程度）制作。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月30日	土		フランス語	○	オリエンテーション、技法説明	
2	10月1日	日					
3	10月2日	月		視覚文明史		制作	
4	10月3日	火	○	技法説明(製版)	○	技法説明(刷り)	
5	10月4日	水		感性と表現3	○	技法説明(様々な刷り方)	
6	10月5日	木		Mac講座B		日本語2	
7	10月6日	金		日本美術史B 英語		制作	
8	10月7日	土		フランス語		制作	
9	10月8日	日					
10	10月9日	月		スポーツの日			
11	10月10日	火		制作	○	制作	
12	10月11日	水		感性と表現3	○	制作	
13	10月12日	木		Mac講座B		日本語2	
14	10月13日	金		日本美術史B 英語	○	制作	
15	10月14日	土		フランス語		同窓会講座	
16	10月15日	日					
17	10月16日	月		視覚文明史		制作	
18	10月17日	火		制作		制作	
19	10月18日	水		感性と表現4	○	講評会	

学習目標

シルクスクリーンは別名孔版と呼ばれ、型染めの型紙と紗が組み合わされて改良されたものです。枠に張った紗の目を unnecessaryな部分は塞ぎ、画の孔（穴）の部分からスキージによって下の紙にインクを落として刷る技法です。授業においてはいくつかの製版方法がありますが、現在一般的に行われる直接感光法を学びます。基礎を身に付け各自のイメージに近づける作品作りを目指します。

予習・準備物

下絵、紙コップ、プラスチックスプーン、ウエス（ボロ布）、新聞紙、用紙（いずみ中判4枚またはA3厚紙セント紙8枚分）、制作マニュアル、マスキングテープ、試し刷り用紙（なんでも可）

注意事項

初日までに下絵(アイデアスケッチ)を用意すること。

授業では汚れても良い格好(エプロン等)をしてください。

評価方法

習熟度と提出課題による採点

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

感性と表現4

担当教員 大石恵美子

受講アトリエ [602] 修得単位： 単位

2023/10/18(水)- 2023/11/22(水)

※感性と表現3、4合わせて1単位

11:00-12:30

授業内容

【課題1】① アート系（芸術・デザイン・イラストなど）② 動画系（映画・番組・ミュージックビデオ・YouTubeなど）③ サブカル系（マンガ・アニメ・ゲーム・小説など）④ 場所（美術館・建物・町など）これら4つのジャンルの自分の好きなベスト3を「文章と画像」で魅力的に紹介する。

【課題2】課題1で用いた画像の中から1つを選び、そこからインスピレーションを受けた作品を作る。※詳細は初日に説明します。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月18日	水	○	課題説明		実技カリキュラム	
2	10月25日	水	○	【課題1-1】提出・鑑賞		実技カリキュラム	
3	11月1日	水	○	【課題1-2】提出・鑑賞		実技カリキュラム	
4	11月8日	水	○	【課題1-3】提出・鑑賞		実技カリキュラム	
5	11月15日	水	○	【課題1-4】提出・鑑賞		海外講座	
6	11月22日	水	○	【課題2】提出・鑑賞		実技カリキュラム	

学習目標

- 【課題1】創作力・表現力を鍛えるために「インプット」を習慣づける。
- ・自分が「何を」「何で」好きなのか？をこの機会に熟考し、その魅力を他人に説明する技術を習得する。
 - ・課題終了時に1学年分の「好きなモノ」が集まるので、それらから興味の幅を広げて欲しい。
- 【課題2】何から刺激を受けて、何を作るか？その流れを体験する。

予習・準備物

自分の好きな①「芸術家・デザイナー・イラストレーター系」②「動画系（映画・番組・ミュージックビデオなど）」③「マンガ・アニメ」④「場所（美術館・建物・町など）」をリストアップし、それらを人に説明する際に使いたい画像を集めておいてください。

注意事項

評価方法

作品提出により採点する。

前期ビジュアルデザイン科基礎

担当教員 山本哲次、岡山拓史、田中北斗

受講アトリエ [602] 修得単位：2.5単位

2023/09/05(火)-2023/09/29(金)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

イラストや文字情報を限られたスペースの中に収めながら、音楽から受けるイメージを広げて、ビジュアルで表現することを学びます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月5日	火	○	オリエンテーション	—	制作	担当：岡山
2	9月6日	水		感性と表現3	○	制作	担当：山本
3	9月7日	木		Mac講座A	○	制作	担当：田中
4	9月8日	金		日本美術史A 英会話	○	制作	担当：山本・岡山
5	9月9日	土		フランス語	—	自主制作	
6	9月10日	日					
7	9月11日	月		文章技法論	—	自主制作	
8	9月12日	火	○	中間講評1	○	中間講評1	担当：岡山・田中
9	9月13日	水		感性と表現3	○	制作	担当：山本
10	9月14日	木		Mac講座A	○	制作	担当：岡山・田中
11	9月15日	金		日本美術史A 英会話		後期ガイダンス	
12	9月16日	土		創立記念日			
13	9月17日	日					
14	9月18日	月		敬老の日			
15	9月19日	火	○	制作	○	制作	担当：岡山・田中
16	9月20日	水		感性と表現3	○	中間チェック	担当：山本
17	9月21日	木		Mac講座A		自主制作	
18	9月22日	金		日本美術史A 英会話	○	制作	担当：山本・田中
19	9月23日	土		秋分の日			
20	9月24日	日					
21	9月25日	月		文章技法論	—	自主制作	
22	9月26日	火	—	自主制作	○	制作	担当：岡山
23	9月27日	水		感性と表現3	○	提出前チェック	担当：山本
24	9月28日	木		Mac講座A	○	制作	担当：田中
25	9月29日	金		日本美術史A 英会話	○	講評会	担当：山本・岡山・田中

学習目標

自分の好きなミュージシャンのCDジャケットとポスターをオリジナルで制作します。

予習・準備物

デザインしたいミュージシャンの選定

注意事項

メインビジュアルはオリジナルで描いたイラストを使用すること。CDとポスターはパソコンで仕上げる。
イラストには人を描かないこと。使用画材は自由。デジタルイラストも可。

評価方法

授業態度、中間講評1&2、講評での総合評価

1年ファインアート科

前期ファインアート科基礎

担当教員 工藤礼二郎、鈴木吐志哉

受講アトリエ [601] 修得単位：2.5単位

2023/09/05(火)-2023/09/29(金)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

- ①版画としてのモノタイプ制作と紙に直接的にアプローチするドローイング制作の双方を行い、画面が成立する要素が版画と絵画でどのような差異と共通点があるかを検証する。
- ②刷りとった痕跡の残るモノタイプの版ヘリタッチすることで作品化を試みる。
- ③ キャンバスに①②の造形要素をさらに展開させ、タブロー制作を行う

授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月5日	火	○	オリエンテーション	○	モノタイプ制作	工藤／鈴木
2	9月6日	水		感性と表現3	○	モノタイプ制作	鈴木
3	9月7日	木		Mac講座A		モノタイプ制作	助手
4	9月8日	金		日本美術史A 英会話	○	紙にドローイング	鈴木
5	9月9日	土		フランス語	○	紙にドローイング	工藤
6	9月10日	日					
7	9月11日	月		文章技法論		紙にドローイング	助手
8	9月12日	火		版を絵画化	○	版を絵画化	工藤／鈴木
9	9月13日	水		感性と表現3	○	版を絵画化	鈴木
10	9月14日	木		Mac講座A	○	版を絵画化	工藤
11	9月15日	金		日本美術史A 英会話		後期ガイダンス	
12	9月16日	土		創立記念日			
13	9月17日	日					
14	9月18日	月		敬老の日			
15	9月19日	火	○	タブロー制作	○	タブロー制作	工藤
16	9月20日	水		感性と表現3	○	タブロー制作	鈴木
17	9月21日	木		Mac講座A	○	タブロー制作	鈴木
18	9月22日	金		日本美術史A 英会話	○	タブロー制作	工藤
19	9月23日	土		秋分の日			
20	9月24日	日					
21	9月25日	月		文章技法論	○	タブロー制作	鈴木
22	9月26日	火	○	タブロー制作	○	タブロー制作	工藤
23	9月27日	水		感性と表現3		タブロー制作	
24	9月28日	木		Mac講座A	○	タブロー制作	工藤
25	9月29日	金		日本美術史A 英会話	○	講評会	工藤／鈴木

学習目標

単に「見たまま」「見たとおり」に描くといった狭義の絵画感から、版と絵画の双方の要素に触れながら絵画として自立、成立する色彩や形態とはどういうものなのかを実践を通して探る。

予習・準備物

アクリル、油彩用具など必要に応じて学生が準備する。 キャンバスF8号学生各1枚、モノタイプ版1枚支給。

注意事項

講師の指導日は講師が出席を取りますが、指導日以外でも授業日は助手が出席を取ります。

評価方法

課題提出による採点

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

感性と表現3

担当教員 高倉公美

受講アトリエ [602] 修得単位: 単位

2023/09/06(水)- 2023/10/11(水)

11:00-12:30

授業内容

アニメやゲームの世界を衣装の観点からみてゆく。アニメのみならず憧れのファッションスタイルでも可。全員デザイン画を描き提出。実現可能か検証する。2週目は私自身ニューヨークコレクション参加のため指導に入らないが、各自、制作を進めること。キャラ設定の続きとコレクション動画を見て感想を提出。次に、一つのことに焦点をあてて自分のデザイン画一部を実現していく。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月6日	水	○	二次元デザインと三次元デザインの考え方		実技カリキュラム	デザイン画を描く
2	9月13日	水		自分なりのキャラクター構想、デザイン画を起こす		実技カリキュラム	課題の続き:デザイン画を描くコレクション動画を見て感想を書く
3	9月20日	水	○	デザイン画を基に生地を決めていく、その考え方		実技カリキュラム	スケッチ準備 欠
4	9月27日	水	○	デザイン画中一部製作にはいる		実技カリキュラム	針と糸、欠
5	10月4日	水	○	制作		実技カリキュラム	布と針糸準備
6	10月11日	水	○	実技の続き、提出、感想文		実技カリキュラム	

学習目標

クリエイターになるための考え方(アイデアや企画)や社会との関わり方の知識を感じてもらいつつ、実技では自分のデザインを衣装観点から形にしてゆく。二次元デザインは現実に落とし込めるのか、の検証をする。

予習・準備物

注意事項

評価方法

作品提出、最終提出の文面により採点する。

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

感性と表現2

担当教員 尼子 靖

受講アトリエ 【602】

2023/06/07(水)- 2023/07/12(水)

修得単位：「感性と表現1、2」全て習得して1単位

11：00-12：30

授業内容

多様な立体表現の可能性を、アート、デザイン、舞台美術等より、コンテンツとしてレクチャー形式で学ぶ。また、実践的な立体表現を、「紙」をメイン素材とした課題で、イメージの創り方、構成、加工方法等の基礎技術を習得する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月7日	水	○	空間表現に関わるアート、デザイン等のレクチャー&課題説明。次回に向けての家庭課題。		構成力	
2	6月14日	水	○	アイデアスケッチを元に、紙で試作を作りながらアイデアを練る。		構成力	
3	6月21日	水	○	アイデアを発表後、調整、決定して制作の段取りを決める。		構成力	
4	6月28日	水	○	制作		構成力	
5	7月5日	水	○	制作～作品完成		構成力	
6	7月12日	水	○	講評会		構成力	

学習目標

自己のクリエイティブな感性、表現の可能性を2次元に留まらず、3次元の世界に視野を広げ、感性の幅を広げることを目標とする。

予習・準備物

学校支給素材A：B3パネル、B3イラストボード、四つ切画用紙@3枚、四つ切ケント紙@3枚、四つ切白ダンボール@1枚、学校準備素材（教室単位で）：両面テープ15こ程度、55&77スプレーのり各3個、スティックのり5個、ホッチキス5個、マスキングテープ10個、画鋏、クリップ人数分。学生持参用具：筆記用具一式、クロッキー帳、カッターナイフ、ハサミ、30cm以上の定規、彩色用具一式、カッターマット（学校にあればそれを使用する）

注意事項

制作時、カッターナイフを使うので、事故の無いように、加工方法、説明を良く聞くこと。

評価方法

作品提出により採点する。

1年ファインアート科

伝統と現代

担当教員 小林大悟

受講アトリエ [601] 修得単位：1.5単位

2023/04/15(土)-2023/7/15(土)

13：30-16：30

授業内容

ワークショップ形式の課題を通じて、日常的に接する機会の少ない「日本美術」や「伝統」に関わる素材や題材に広く触れていきます。

授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	土		フランス語1	○	オリエンテーション	
2	4月22日	土		フランス語1	○	長い紙に描いてみよう	
3	5月6日	土		フランス語1	○	長い紙に描いてみよう 続きと鑑賞会	
4	5月13日	土		フランス語1	○	墨を味わおう	
5	5月20日	土		フランス語1	○	墨を味わおう	
6	5月27日	土		フランス語1	○	画材で遊ぼう	
7	6月3日	土		フランス語1	○	画材で遊ぼう	
8	6月10日	土		フランス語1	○	日本画鑑賞（川端龍子記念館）	課外授業（美術館見学）
9	6月17日	土		フランス語1	○	日本画をかいてみよう	
10	6月24日	土		フランス語1	○	日本画をかいてみよう	
11	7月1日	土		フランス語1	○	現代妖怪を描こう	
12	7月8日	土		フランス語1	○	現代妖怪を描こう	
13	7月15日	土		フランス語1	○	現代妖怪を描こう	

学習目標

「日本美術」や「日本画」をテーマに、現代的な視点も交えながら実技制作を行なっていきます。この授業で重きを置くのは技術習得や作品の出来上がりではなく、不慣れな画材を通じてそれぞれが実験・発見を積み上げていくことです。授業を通じ日本美術へと関心を持つきっかけをつくり、今後専門分野に分かれても応用していける引き出し作りを目指します。

予習・準備物

筆記用具、汚れても良い服装

注意事項

対面授業は進行状況を鑑みて、内容の前後や多少の変更もあります。（オンライン授業日は原則変更しません）

評価方法

参加意欲と授業態度を重視します。

1年ビジュアルデザイン科

写真基礎演習

担当教員 藤本 陽
受講アトリエ [602] 修得単位：1.5単位

2023/04/15(土)-2023/7/15(土)
13：30-16：30

授業内容
課題を通して観察を行い、その写真を撮ります。その撮影した内容が制作意図の伝達ができているかを確認していく。撮影はチームを組み、課題に対して時間と内容を個人だけではなく、チームで管理と進行する。

授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	土		フランス語1	○	授業説明と課題について	
2	4月22日	土		フランス語1	○	撮影(街歩き)	
3	5月6日	土		フランス語1	○	画像編集と編集の簡易説明	
4	5月13日	土		フランス語1	○	画像編集	
5	5月20日	土		フランス語1	○	プリント提出と批評会	
6	5月27日	土		フランス語1	○	課題説明とその構想	
7	6月3日	土		フランス語1	○	撮影(日常)	
8	6月10日	土		フランス語1	○	画像編集	
9	6月17日	土		フランス語1	○	プリント提出と批評会	
10	6月24日	土		フランス語1	○	課題説明とその構想	
11	7月1日	土		フランス語1	○	撮影(明日館か目白庭園)	
12	7月8日	土		フランス語1	○	画像編集	
13	7月15日	土		フランス語1	○	プリント提出と批評会	

学習目標
一枚一言の制作趣旨で、伝えると伝わるの差異を減らす、または生じる事を理解していく。 回数を重視して都度の課題で捉え方を変えていき、考え過ぎずに納期に向かって行動を起こす事を促す。

予習・準備物
パソコンへのデータ移動、写真屋さんでのプリントの仕方・カメラとして機能する物(スマートフォンや一眼レフなど)

注意事項
適切な言動を求めます。理由が不適切な遅刻や怠惰などに、他人に対する不適切や不愉快な言動などがあれば評価をいたしません。

評価方法
参加意欲・授業態度(50%)と制作物(50%)

1年ファインアート科／ビジュアルデザイン科

表現力

担当教員 飯田 淳

受講アトリエ [601、602] 修得単位：1.5位

2023/04/14(金)-2023/7/14(金)

13：30-16：30

授業内容

表現力は柔らかな発想のもと、物や事、ストーリーを色で表現する授業です。決めつけで物を作らず、固定概念に囚われない事。意外性のある課題を通して「自分の枠」を飛び越え、個性が重視されるイラストの世界に近づくための授業でもあります。

授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月14日	金		日本美術史A／英会話	○	オリエンテーション	
2	4月21日	金		日本美術史A／英会話	○	制作	
3	5月12日	金		日本美術史A／英会話	○	制作	
4	5月19日	金		日本美術史A／英会話	○	制作	
5	5月26日	金		日本美術史A／英会話	○	制作	
6	6月2日	金		日本美術史A／英会話	○	制作	
7	6月9日	金		日本美術史A／英会話	○	制作	
8	6月16日	金		日本美術史A／英会話	○	制作	
9	6月23日	金		日本美術史A／英会話	○	制作	
10	6月30日	金		日本美術史A／英会話	○	制作	
11	7月7日	金		日本美術史A／英会話	○	講評	
12	7月14日	金		日本美術史A／英会話	○	講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

課題ごとに指示する。

注意事項

出来る限り授業時間内に制作完成させること。

評価方法

課題提出と授業態度で評価する。

1年ファインアート科／ビジュアルデザイン科

企画力

担当教員 岡山拓史

受講アトリエ 【601、602】 修得単位：1.5単位

2023/04/13(木)-2023/7/13(木)

13：30-16：30

授業内容

企画やアイデアを求められる場面が現代社会では非常に多くなってきました。「企画力」ではアイデアの出し方、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、実現力などクリエイティブの現場で必要となるスキルを課題制作を通して養います。そして社会との繋がりを意識してもらいます。

授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	木		Mac講座A／社会とクリエイター	○	オリエンテーション / 課題制作A-1	
2	4月20日	木		Mac講座A／社会とクリエイター	○	課題制作A-2	
3	4月27日	木		Mac講座A／社会とクリエイター	○	課題制作A-3	
4	5月11日	木		Mac講座A／社会とクリエイター	○	課題制作A-4	
5	5月18日	木		Mac講座A／社会とクリエイター	○	課題制作A-5	
6	5月25日	木		Mac講座A／社会とクリエイター	○	課題制作A-6	
7	6月1日	木		Mac講座A／社会とクリエイター	○	プレゼンテーション/講評	
8	6月8日	木		Mac講座A／社会とクリエイター	○	課題制作B-1	
9	6月15日	木		Mac講座A／社会とクリエイター	○	課題制作B-2	
10	6月22日	木		Mac講座A／社会とクリエイター	○	課題制作B-3	
11	6月29日	木		Mac講座A／社会とクリエイター	○	課題制作B-4	
12	7月6日	木		Mac講座A／社会とクリエイター	○	課題制作B-5	
13	7月13日	木		Mac講座A／社会とクリエイター	○	プレゼンテーション/講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

生活スタイルが大きく変わった昨今、自分の中で感じたこと、気づいたこと、社会の変化や未来、この課題制作の中で必要になることです。自分の中で整理しておいてください。

注意事項

クリエイティブな現場と同じようにグループで課題制作を進めます。欠席、遅刻をしないよう注意してください。

評価方法

課題提出による採点

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

MAC講座A

担当教員 高林直俊

受講アトリエ [401] 修得単位：1単位

2023/04/13(木)-2023/09/28(木)

＊「Mac講座A」と「社会とクリエイター」は1限と2限を学生が入れ替え制で授業を行います。

9：20-10：50/11：00-12：30

授業内容

前期では基礎的なPCの使い方、IllustratorおよびPhotoshopの基礎的知識、技術を身につけるための授業を行います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM		指導	PM	備考
1	4月13日	木	○	オリエンテーション	社会とクリエイター		企画力	自己紹介・Macに触れてみよう
2	4月20日	木	○	データ作成の基礎	社会とクリエイター		企画力	データ名・データ作成・データ送信
3	4月27日	木	○	Illustratorとは	社会とクリエイター		企画力	Illustratorに触れてみよう
4	5月11日	木	○	Photoshopとは	社会とクリエイター		企画力	Photoshopに触れてみよう
5	5月18日	木	○	Illustrator_基礎A	社会とクリエイター		企画力	Illustratorの基礎 基礎操作、ツール、図形、イラスト、文字の扱い方、印刷知識
6	5月25日	木	○	Illustrator_基礎B	社会とクリエイター		企画力	
7	6月1日	木	○	Photoshop_基礎A	社会とクリエイター		企画力	Photoshopの基礎 基礎操作、ツール、画像処理・合成など
8	6月8日	木	○	Photoshop_基礎B	社会とクリエイター		企画力	
9	6月15日	木	○	Illustrator & Photoshop	社会とクリエイター		企画力	予備日
10	6月22日	木	○	【課題A】名刺作成進行	社会とクリエイター		企画力	名刺を作る。制作～出力提出&データ提出まで
11	6月29日	木	○	【課題A】名刺作成進行	社会とクリエイター		企画力	
12	7月6日	木	○	【課題A】課題提出	社会とクリエイター		企画力	
13	7月13日	木	○	【自由課題】作成進行	社会とクリエイター		企画力	自由課題。制作～出力提出&データ提出まで
14	9月7日	木	○	作成進行			企画力	
15	9月14日	木	○	作成進行			企画力	
16	9月21日	木	○	作成進行			企画力	
17	9月28日	木	○	課題提出			企画力	

学習目標

イラストレーターやデザイナーなどデザイン業界に携わる際に、印刷物（紙媒体）をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。また自己アピールの際にポートフォリオ作成に必要な最低限の知識などを身につけます。

予習・準備物

毎授業USBメモリは必須となります。その他何か必要な場合は事前に告知します。

注意事項

課題も大事ですが、出席率は他の授業に比べかなり重視します。

評価方法

課題作品 50% 制作態度 50%

1年ファインアート科／ビジュアルデザイン科

社会とクリエイター

担当教員 田中北斗

受講アトリエ [602] 修得単位：1単位

2023/04/13(木)-2023/07/13(木)

「社会とクリエイター」は「Mac講座A」と1限、2限で学生は入れ替わりで授業を受けます。

9：20-10：50/11：00-12：30

授業内容

毎回、講義を中心にプロのクリエイターに必要な知識や考え方を養います。授業時間内の後半では、様々なテーマに合わせ、各自の意見やアイデアを文章やラフスケッチなどで表現、提出。発表など行う場合もあります。ゲストを招いたトークセッションでは、プロのクリエイターになるためのプロセスなどを伺います。質問コーナーも予定。

授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	木	○	Mac講座A	オリエンテーション		企画力
2	4月20日	木	○	Mac講座A	講義「クリエイターになるために」		企画力
3	4月27日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク vol.1		企画力
4	5月11日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク vol.2		企画力
5	5月18日	木		Mac講座A	自習「社会を巻き込むアイデア」レポート		企画力
6	5月25日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク vol.3		企画力
7	6月1日	木	○	Mac講座A	講義		企画力
8	6月8日	木	○	Mac講座A	講義		企画力
9	6月15日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク vol.4		企画力
10	6月22日	木	○	Mac講座A	講義		企画力
11	6月29日	木	○	Mac講座A	講義		企画力
12	7月6日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク vol.5		企画力
13	7月13日	木	○	Mac講座A	講義		企画力

学習目標

クリエイターになるための考え方（アイデアや企画）や社会との関わり方、コミュニケーションの大切さなどを講義やゲストを招いたトークセッションを通して学びます。

予習・準備物

筆記用具：授業の後半に、質問やアイデアなどを「文章・ラフスケッチ」などの形で提出していただくことがあります。

注意事項

評価方法

授業態度 及び 提出物による採点

1年ファインアート科／ビジュアルデザイン科

構成力

担当教員 山本哲次

受講アトリエ 【602】 修得単位：1.5単位

2023/04/12(水)-2023/7/12(水)

13：30-16：30

授業内容

構成力は構図、レイアウトなど、組み立てる力をつける授業です。対象物をじっくり観察し、特徴を捉え、どういう構図やレイアウトがベストなのか、作品の分析や制作を通して身につけていきます。同時にデザインの考え方を学んでいく授業です。制作の一連の流れを体験しながら自分自身で作品を評価、分析することも学んでいきます。

授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月12日	水		日本語1	○	ガイダンス	オリエンテーション
2	4月19日	水		日本語1	○	シンボルマーク／観察・分析	
3	4月26日	水		日本語1	○	シンボルマーク／描写	
4	5月10日	水		日本語1	○	シンボルマーク／色面構成	
5	5月17日	水		日本語1	○	シンボルマーク／マーク制作	※各自、描写制作を進めること
6	5月24日	水		日本語1	○	シンボルマーク／検証／評価	シンボルマーク講評
7	5月31日	水		日本語1	○	フライヤー／分解・分析	
8	6月7日	水		日本語1	○	フライヤー／分解・分析	
9	6月14日	水		日本語1	○	フライヤー／アイデアスケッチ	
10	6月28日	水		日本語1	○	フライヤー／構築・表現	
11	7月5日	水		日本語1	○	フライヤー／検証・評価	
12	7月12日	木		日本語1	○	フライヤー講評・構成力総評	フライヤー講評・総評

学習目標

将来活動をする上で基本の「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。基礎力をしっかり身に付けることで、2年、3年の専門課程ができるようになります。「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」の5つの全てを習得することによって初めてプロとして必要な基礎力が身につきます。「構成力」は、表現においてのカタチの形成・構図・レイアウトなどに関わる重要な基礎の力です。デザインの基礎的な事や考え方を学ぶことを目標とします。

予習・準備物

筆記用具・スケッチ用紙。その他は授業初日に説明します。

注意事項

1. 制作本来の目的を意識し、事前の準備をしっかり行いましょう。
2. 遅刻・欠席が無いように注意しましょう。
3. 提出物の期限を守りましょう。
4. アトリエはキレイに使いましょう。
5. 授業・課題制作を楽しみましょう。

評価方法

制作態度・積極性60%（課題作品の完成度はもちろん、演習を期限内に提出することを最低基準とします）課題作品40%

1年ビジュアルデザイン科

観察力

担当教員 関根秀星

受講アトリエ [602] 修得単位：3単位

2023/04/11(火)-2023/7/11(火)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

デッサン・クロッキーの、基礎から応用。

課題毎にデモストや講評を行い、より深い理解へと繋げる。

授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月11日	火	○	オリエンテーション／グレースケール	○	静物デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
2	4月18日	火	○	静物デッサン基礎	○	静物デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
3	4月25日	火	○	静物デッサン基礎	○	静物デッサン基礎	B3画用紙・鉛筆
4	5月9日	火	○	人体デッサン	○	人体デッサン	B3画用紙・鉛筆
5	5月16日	火	○	人体デッサン	○	人体デッサン	B3画用紙・鉛筆
6	5月23日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
7	5月30日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
8	6月6日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
9	6月13日	火	○	静物デッサン応用	○	静物デッサン応用	B3画用紙・鉛筆
10	6月20日	火	○	人体クロッキー	○	人体クロッキー	木炭紙大クロッキー帳、 画用紙等
11	6月27日	火	○	人体クロッキー	○	人体クロッキー	木炭紙大クロッキー帳、 画用紙等
12	7月4日	火	○	細密描写	○	細密描写	画用紙、上質紙等／鉛 筆、色鉛筆
13	7月11日	火	○	細密描写	○	細密描写	画用紙、上質紙等／鉛 筆、色鉛筆

学習目標

イラストレーションやデザインや絵画や立体等々、クリエイターの表現方法は多岐にわたるが、全ての表現に共通する大前提の過程として、表現する対象を深く、多角的に理解する"インプット"の質が求められる。

デッサンやクロッキーを通して、モノの本質的、外見的な観察力を養い、表現者としての基礎体力をつける。

予習・準備物

・デッサン用具一式 ・これまでの課題制作物、自主制作作品 ・各課題において、各自準備物を別途指示

注意事項

評価方法

制作態度、提出課題による採点

1年ファインアート科

観察力

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [601] 修得単位：3単位

2023/04/11(火)-2023/7/11(火)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

観察力では単に描写力を鍛えるだけでなく、描くことを通して物事を深く見つめることのできる力を養っていきます。それはプロのクリエイターとして必要かつ重要なことです。じっくりと物と対話しながら描くことの面白さと大切さを学びます。鉛筆、木炭デッサンから始まり、人体デッサン、水彩、油画など絵画表現の基礎を身につけます。

授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月11日	火	○	オリエンテーション／鉛筆デッサン(静物)	○	鉛筆デッサン(静物)	B3画用紙・鉛筆
2	4月18日	火	○	講師作品解説/鉛筆デッサン(静物)	○	鉛筆デッサン(静物)	B3画用紙・鉛筆
3	4月25日	火	○	制作実演/木炭デッサン(静物)	○	木炭デッサン(静物)	木炭紙・木炭
4	5月9日	火	○	木炭デッサン(静物)	○	木炭デッサン(静物)	木炭紙・木炭
5	5月16日	火	○	美術解剖学講座	○	人体クロッキー (男性)	B3クロッキー帳・コンテ
6	5月23日	火	○	美術解剖学講座	○	人体クロッキー (女性)	B3クロッキー帳・コンテ
7	5月30日	火	○	人体デッサン (男性座りポーズ)	○	人体デッサン (男性座りポーズ)	木炭紙大画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
8	6月6日	火	○	人体ヌードデッサン (女性寝ポーズ)	○	人体ヌードデッサン (女性寝ポーズ)	木炭紙大画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
9	6月13日	火	○	人体コスチュームデッサン (座りポーズ)	○	人体コスチュームデッサン (座りポーズ)	木炭紙大画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
10	6月20日	火	○	水彩描写 (顔を描く)	○	水彩描写 (顔を描く)	B3画用紙・水張りパネル・水彩
11	6月27日	火	○	水彩描写 (風景を描く)	○	水彩描写 (風景を描く)	B3画用紙・水張りパネル・水彩
12	7月4日	火	○	基礎油画	○	基礎油画	F10号キャンバス・油彩
13	7月11日	火	○	基礎油画	○	基礎油画／基礎油画	F10号キャンバス・油彩

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

注意事項

評価方法

課題作品による採点

技法力

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ 【601、602、他】 修得単位：1.5単位

2023/04/10(月)-2023/7/10(月)

13：30-16：30

授業内容

技法力は様々な版画の技法から生まれる表現を体験しながら探る授業です。まずフロタージュから始まりモノタイプやシルクスクリーンなど、直接描くことでは得られない間接表現の魅力を学びます。さらに本校収蔵の葛飾北斎「神奈川沖浪裏」復刻版の版木をキーワードに、自由な表現による木版画、コラージュへと展開させてゆきます。

授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月10日	月		感性と表現／文章技法論	○	フロタージュ	筆記用具
2	4月17日	月		感性と表現／文章技法論	○	モノタイプ（トランスファー）	・筆記用具・鉛筆・ボールペン ・エプロン等汚れても大丈夫な服装
3	4月24日	月		感性と表現／文章技法論	○	モノタイプ（スクラッチ）	
4	5月8日	月		感性と表現／文章技法論	○	シルクスクリーン（原稿制作）	
5	5月22日	月		感性と表現／文章技法論	○	シルクスクリーン（刷り）	
6	5月29日	月		感性と表現／文章技法論	○	シリコンリトグラフ（版制作）	
7	6月5日	月		感性と表現／文章技法論	○	シリコンリトグラフ（刷り）	
8	6月12日	月		感性と表現／文章技法論	○	木版画 （正方形の版木を使って） （葛飾北斎復刻版版木の摺り体験）	・筆記用具・鉛筆・ボールペン ・エプロン等汚れても大丈夫な服装 ・カッター・ハサミ
9	6月19日	月		感性と表現／文章技法論	○	木版画 （正方形の版木を使って） （葛飾北斎復刻版版木の摺り体験）	
10	6月26日	月		感性と表現／文章技法論	○	木版画 （正方形の版木を使って） （葛飾北斎復刻版版木の摺り体験）	
11	7月3日	月		感性と表現／文章技法論	○	木版画 （正方形の版木を使って） （葛飾北斎復刻版版木の摺り体験）	
12	7月10日	月		感性と表現／文章技法論	○	講評会	筆記用具

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。ものの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

●配信される技法の紹介動画の視聴（その都度告知します） ●鉛筆、ノート等の筆記用具 ●エプロン等の汚れても大丈夫な服装

注意事項

7/10に講評会を行います。制作した自分の作品を支給したデザインケースできちんと管理しておいてください。

評価方法

授業での積極性50% 提出課題50%

1年ファインアート科／ビジュアルデザイン科

感性と表現1

担当教員 富岡由理弥

受講アトリエ [602]

修得単位：「感性と表現1、2、3」全て習得して1単位

2023/04/10(月)- 2023/05/29(月)

9：20-10：50

授業内容

クラシック音楽の基礎や、音楽の歴史などを学びながら、空間芸術に対して時間芸術がどのようなものであるかを学ぶ。さまざまなリズムや音が何を表しているのかをイメージし、想像力を養っていく。実際の実技も伴う。

授業スケジュール／計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月10日	月	○	オリエンテーション アンケート、音楽と美術のつながり、 音楽の歴史など。		技法力	学校準備： CDがかけられる機材
2	4月17日	月	○	音楽修辞学。 各作曲家のエピソードなど		技法力	
3	4月24日	月	○	心の表現方法。音楽において言葉をど のように聴衆へ伝えるか。		技法力	
4	5月8日	月	○	リズムから言葉をイメージしていく。 想像力を養う。		技法力	
5	5月22日	月	○	腹式呼吸や発声を体験。声はどのよう に出ているのかを実感する。		技法力	朗読・表現の課題配布
6	5月29日	月	○	実技とレポート提出		技法力	

学習目標

芸術性を身につける為には広い視野で」様々な芸術に触れる機会が必要。美術と音楽にも共通点があると考え、音楽の知識や感覚を少しでも知る事により、自身の作品に生かして貰いたい。

予習・準備物

注意事項

評価方法

実技及びレポートを提出による採点